



LBO ロケーションでの Cisco Emergency Responder のプロビジョニング

この章では、Cisco Emergency Responder (CER) の HUCS 7.1A プラットフォームへの導入について説明します。ここで説明する内容は、次のとおりです。

- 「CER の導入に関する前提条件」 (P.8-1)
- 「静的設定」 (P.8-2)
- 「CER のプロビジョニング」 (P.8-5)
- 「CER でのデフォルト ERL および ELIN の設定」 (P.8-9)
- 「Cisco ER パーティションの IncomingToCluster CSS への追加」 (P.8-11)
- 「カスタマーごとの PSAP コールバック設定」 (P.8-12)
- 「CER でのハードウェア グループの作成」 (P.8-13)
- 「ロケーションの追加 (拡張緊急サポート)」 (P.8-14)
- 「ロケーションの ERL および ELIN の追加」 (P.8-14)

CER の導入に関する前提条件

CER を導入する前に、System Integrator (SI) は、少なくとも次の情報を入手する必要があります。

- サービス プロバイダーに接続する PRI トランク。



(注) Hosted UCS 7.1A では、CAMA トランクは設定できません。

- デフォルト Emergency Response Location (ERL; 緊急応答ロケーション)、Automatic Location Informaiton (ALI; 自動ロケーション情報) データおよび Emergency Location Identifier Number (ELIN; 緊急ロケーション識別番号)。
 - Emergency Location Identifier Number (ELIN; 緊急ロケーション識別番号) として使用される、Emergency Response Location (ERL; 緊急応答ロケーション) の ELIN Direct Inward Dialing (DID; ダイヤルイン) 番号。
 - ERL の ALI データ。緊急コールは、緊急コール発信者の ELIN に基づいて適切な Public Safety Answering Point (PSAP) に送信されます。コールを送信するには、テレフォニーネットワークが、ELIN をロケーションにマッピングする Automatic Location Informaiton (ALI; 自動ロケーション情報) を取得し、発信者の検出に役に立つ PSAP 画面に表示されるロケーション情報を提供する必要があります。

- 各ロケーションの ERL および関連する ELIN。CER を使用するためにプロビジョニングされるすべてのロケーションに対して、ELIN (DDI) および ALI データがあることを確認します。

静的設定、基本設定、繰り返し設定

通常、プロビジョニングは、CER グループの導入に一度実行されますが、場合によっては、新しいカスタマー、ロケーション、電話機スイッチ、電話機、ERL または ELIN がプラットフォームに追加されるたびに一度実行する必要があります。



(注) BVSM により定義されているように、1 つのカスタマー ロケーションを Emergency Response Location (ERL; 緊急応答ロケーション) に変換する必要はありません。

次の手順は、スイッチまたは電話機を CER に追加するときに実行する必要があります。

- ステップ 1** LAN Switch SNMP を設定します (新しいスイッチ)。
- ステップ 2** SNMP および関連するネットワーク IP データを CER に追加します (新しいスイッチ)。
- ステップ 3** 最新の電話機情報を取得するポール スイッチを選択します (新しいスイッチまたは電話機)。
- ステップ 4** 検出される電話機は、個々の ERL にタグ付けされる必要があります (新しいスイッチまたは電話機)。

新しいカスタマーを追加する場合は、PSAP コールバック セクションを実行します。



(注) CER の計画の詳細については、次を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cer/7_1_1/english/administration/guide/e911plan.html

静的設定

ここでは、次の内容について説明します。

- 「CER サーバグループの設定」 (P.8-2)
- 「Cisco Unified CM の静的設定」 (P.8-3)
- 「LAN Switch SNMP/CDP の設定」 (P.8-4)
- 「SNMP および関連するネットワーク データの CER への追加」 (P.8-4)
- 「CER による LAN スイッチの識別とポーリング」 (P.8-5)

CER サーバグループの設定

CER で、次の [Administration] ページにログインします。

`https://<Cisco_ER_IP_Address_or_name>/ceradmin.`

-
- ステップ 1** [System] > [Cisco ER Group Settings] を選択します。
- ステップ 2** グループ設定を入力します。多くのフィールドには、通常のネットワークで使用できるデフォルトが設定されています。少なくとも、次のフィールドを設定する必要があります。
- [Cisco ER Group Name] : グループの名前を入力します。たとえば、**CERGroup1** と入力します。
 - [Peer TCP Port] : <PeerTCPPort> (例 : **17001**)
 - [Heartbeat Count] : <HeartbeatCount> (例 : **3**)
 - [Heartbeat Interval (secs)] : <HeartbeatInterval> (例 : **30**)
 - [Active Call Timeout (mins)] : <ActiveCallTimeout> (例 : **180**)
 - [Calling Party Modification] : ドロップダウンメニューから [Disable] を選択します。
- ステップ 3** [Update Settings] をクリックします。
-

Cisco Unified CM の静的設定

スイッチの SNMP ストリングを設定する場合、Cisco Unified CM サーバの SNMP ストリングも設定する必要があります。CER は、サポートするクラスタのすべての Cisco Unified Communication Manager サーバの SNMP クエリを作成できなければなりません。

Unified Communication Manager では、CCM で SNMP ストリングを設定するには、[Serviceability] ページにログインします。

`https://<Unified_CM_IP_Address_or_name>/ccmservice`

[SNMP] > [V1/V2c] > [Community String] を選択して、次の項目を設定します。

-
- ステップ 1** [Server] ドロップダウン リスト ボックスから、コミュニティ ストリングを設定するサーバを選択します。たとえば、**10.10.4.2** を選択します。
- ステップ 2** [Add New] をクリックします。
- ステップ 3** [Community String Name] フィールドに、コミュニティ ストリングの名前を入力します。たとえば、**CERGroup1** と入力します。
- ステップ 4** [Host IP Addresses Information] グループ ボックスから、[Accept SNMP Packets only] をクリックします。
- ステップ 5** [Host IP Address] フィールドに、Primary Cisco ER サーバの IP アドレスを入力します。たとえば、**10.10.9.10** と入力します。
- ステップ 6** [Insert] をクリックします。
- ステップ 7** Backup Cisco ER Server が設置されている場合、このプロセスを繰り返します。
- ステップ 8** [Access Privileges] ドロップダウン リスト ボックスから、[ReadOnly access level] を選択します。
- ステップ 9** [Apply To ALL Nodes] チェックボックスをオンにして、コミュニティ ストリングをクラスタのすべてのノードに適用します。
- ステップ 10** [Save] をクリックします。メッセージ「Changes will not take effect until you restart the SNMP master agent. To restart the SNMP master agent service, click OK」が表示されます。



(注)

前述の手順を繰り返し、CUCM クラスタのすべてのサーバにコミュニティ スtring が適用されていることを確認します。これは、サポートするクラスタのすべての Cisco Unified Communication Manager サーバの SNMP クエリを CER が作成できなければならないからです。

LAN Switch SNMP/CDP の設定

CER は、Cisco Discovery Protocol (CDP) を使用して電話機を検出するため、すべてのスイッチで CDP を有効にする必要があります。CDP を有効にしない場合、CER は、スイッチの Content Addressable Memory (CAM; 連想メモリ) テーブルを使用して、電話機を追跡しますが、CDP を使用した方が効率的です。

CER は、SNMP を使用して、スイッチのポートに関する情報を取得します。CER は、SNMP 情報を読み取るだけで、変更をスイッチ設定に書き込まないため、SNMP リード (read) コミュニティ スtring だけを設定する必要があります。

Phone Switch では、CDP を有効にし、SNMP リード (read) コミュニティ スtring を設定するには、グローバル コンフィギュレーション モードで次のコマンドを入力します。

```
cdp run
snmp-server community <Community_String> RO
```

次に例を示します。

```
hostname(config)#cdp run
hostname(config)#snmp-server community CERGroup1 RO
```

SNMP および関連するネットワーク データの CER への追加

Cisco Emergency Responder は、SNMP を使用して、スイッチの電話機ポートに関する情報を取得します。CER で定義されるすべてのスイッチからリード (read) コミュニティ スtring を取得します。

Cisco Emergency Responder で、SNMP 接続を設定するには、[Administration] ページにログインします。

https://<Cisco_ER_IP_Address_or_name>/ceradmin

ステップ 1 [Phone Tracking] > [SNMP Settings] を選択します。

ステップ 2 [SNMP Settings] ページで、次のように入力します。

- SNMP リード (read) コミュニティ スtring を関連付ける IP アドレス パターンを入力します。



(注)

すべてのスイッチが同じリード (read) コミュニティ スtring を使用する場合、*.*.*.* と入力します。スイッチのサブネットが同じストリングを使用する場合、これらのサブネットをカバーするマスクを作成します。各スイッチで異なるストリングを使用する場合、このページで各スイッチを入力する必要があります。

タイムアウトおよび再試行の値を入力します。推奨される最適値は、タイムアウトでは **10 ~ 15 秒**、再試行回数では **2 ~ 3 回** です。

- リード (read) コミュニティ スtring を入力します。たとえば、**CERGroup11** と入力します。

ステップ 3 [Insert] をクリックします。



(注) 注 : CER サーバ、Cisco Unified CM サーバおよび Cisco IP Phone がスイッチとは異なるサブネットにある場合、Cisco Unified CM サーバのサブネット、電話機およびスイッチのサブネットを設定するか、*.*.*.* を使用する必要があります。

CER による LAN スイッチの識別とポーリング

管理するスイッチを CER に通知する必要があります。CER は、ポートに接続されているデバイスの変更など、ポートの変更を追跡し、電話機が接続されているポートを認識できます。電話機が接続されている可能性があるすべてのスイッチ、特にすべてのエッジスイッチを識別します。

CER の初期スイッチリストを作成したら、スイッチ定義をエクスポートし、エクスポート ファイルを編集して、そのファイルを再インポートすることで、スイッチ定義を大幅に変更します。



(注) スイッチを追加する前に SNMP リード (read) コミュニティストリングを設定します。

Cisco Emergency Responder で、LAN スイッチ ログを設定するには、[CER Administration] ページにログインします。

`https://<Cisco_ER_IP_Address_or_name>/ceradmin。`

ステップ 1 [Phone Tracking] > [LAN Switch Details] を選択します。

ステップ 2 [LAN Switch Details] ページで、次のように入力します。

- スイッチの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。たとえば、**10.10.20.1** と入力します。
- 説明を入力します。たとえば、Phone Switch: **PH-SW01** と入力します。

ステップ 3 [Insert] をクリックして、スイッチを CER 設定に追加します。



(注) CER によりメッセージ「Do you want to run the switch-port and phone update process」が表示されたら、このプロセスを実行します。ただし、複数のスイッチを追加する場合、最後のスイッチを追加するまでこのプロセスを回避し、すべての電話機が電話スイッチに接続されたら、[Phone Tracking] > [Run Switch-Port & Phone Update] を選択して、このプロセスを再実行できます。

CER のプロビジョニング

ここでは、次の内容について説明します。

- 「Cisco ER グループの VOSS-USM での定義」(P.8-6)
- 「CER グループの VOSS-USM の CUCM クラスタとの関連付け」(P.8-7)
- 「ユーザの作成および CUCM での CTI ポートとルート ポイントとの関連付け」(P.8-7)
- 「CUCM データの CER への追加」(P.8-8)

Cisco ER グループの VOSS-USM での定義

Cisco ER グループを VOSS-USM で定義するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** [Network] > [Emergency Responder] に移動します。
- ステップ 2** [Add] をクリックします。
- ステップ 3** [Product Selection] 画面で [CiscoEmergencyResponder] に対応する [Add] をクリックします。
- ステップ 4** [CERGroup Details] で、次のように入力します。
- [CERGroup Name] : <uniquename>。Cisco ER で設定されている Cisco ER グループ名と同じ (例 : **CERGroup1**)。
 - [CERGroup Description] : <CERGroupdescription> (例 : **Cisco ER Group 1**)
 - [ELIN for Default ERL] : <ELINDefaultERL> (例 : **4085550001**)



(注) デフォルト ERL の ELIN は、サービス プロバイダー担当者のロケーションに属し、サービス プロバイダー担当者の電話番号の DID でなければなりません。

- [Peer TCP Por] : <PeerTCPPort> (例 : **17001**)
 - [Heartbeat Count] : <HeartbeatCount> (例 : **3**)
 - [Heartbeat Interval (secs)] : <HeartbeatInterval> (例 : **30**)
 - [Active Call Timeout (mins)] : <ActiveCallTimeout> (例 : **180**)
 - [UDP Port Begin] : <UDPPortBegin> (例 : **32000**)
 - [Software Version] : <CERVersion> (例 : **CiscoEmergencyResponder : Any**)
 - [Detailed trace file of configuration sessions?] チェックボックスをオンにします。
 - [Uncheck Encrypt configuration sessions?] チェックボックスをオフにします。
 - [Next] をクリックします。
- ステップ 5** [Primary Cisco Emergency Responder Details] で、次のように入力します。
- [Host Name] : <PrimaryCERHostName> (例 : **CER1a**)
 - [Description] : <PrimaryCERDescription> (例 : **Primary Cisco ER Server**)
 - [IP Address] : <PrimaryCERIPAddress> (例 : **10.10.9.10**)
 - [Config User Id] : <CERSystemAdmin>。たとえば、**CERAdministrator** と入力します (ユーザは、CER System Administrator ユーザ グループのメンバーでなければなりません)。
 - [Config Password] : <CERSystemAdminPassword> (例 : **cisco123**)
 - [Route Point for Main Server] : <RPforMainServer> (例 : **911**)

[Backup Cisco Emergency Responder Details] で、次のように入力します。
(オプション)

- [Host Name] : <SecondaryCERHostName> (例 : **CER1b**)
- [Description] : <SecondaryCERDescription> (例 : **Secondary Cisco ER Server**)
- [IP Address] : <PrimaryCERIPAddress> (例 : **10.10.9.11**)
- [Config User Id] : <CERSystemAdmin>。たとえば、**CERAdministrator** と入力します (ユーザは、CER System Administrator ユーザ グループのメンバーでなければなりません)。

- [Config Password] : <CERSystemAdminPassword> (例 : **cisco123**)
- [Route Point for Backup Server] : <RPforMainServer> (例 : **912**)

ステップ 6 [Add] をクリックします。

CER グループの VOSS-USM の CUCM クラスタとの関連付け

Cisco ER グループを VOSS-USM の Unified CM クラスタに関連付けるには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Network] > [Emergency Responder] に移動します。
- ステップ 2** Cisco ER Group に対応する [Connectivity] (たとえば、CERGroup1) をクリックします。
- ステップ 3** [Connectivity Management] 画面で、[Emergency Responder] > [PBX] をクリックします。
- ステップ 4** Unified CM クラスタ (たとえば、CUCM-POP1) を選択します。
- ステップ 5** [Connect] をクリックします。
- ステップ 6** [Emergency Responder Details] で、次のように入力します。
- [Telephony Port Begin Address] : <PortBeginAddress>。オンサイト アラート (セキュリティ) 担当者のコールに使用する最初の CTI ポートの番号 (例 : **3001**)
 - [Number of Telephony ports] : <NumberofPorts>。CTI ポート数 (例 : **10**)



(注) CTI ポート数は、ダイヤル可能ではないため、たとえば、**3001 ~ 3010** など、その他に設定されている電話番号や内線と重複しないようにしてください。

ステップ 7 [Connect] をクリックします。

ユーザの作成および CUCM での CTI ポートとルート ポイントとの関連付け

Cisco Unified Communication Manager で、Cisco Emergency Responder Cisco Unified Communication Manager ユーザを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Cisco Unified CM Administration] ページ (https://<Unified_CM_IP_Address_or_name>/ccmadmin) にログインします。
- ステップ 2** [User Management] > [Application User] を選択します。
- ステップ 3** [Add New] をクリックして、次のように設定します。
- [User ID] : <UserID> (例 : CERUser)
 - [Password] : <Password> (例 : cisco123)
 - [Confirm Password] : <Password>。パスワードを再入力します (例 : cisco123)
- ステップ 4** [Device Information section] で、ルート ポイント **RP911**、**RP912**、**RPELIN913**、および CTI ポート **3001 ~ 3010** など、設定されている Cisco ER ルート ポイントおよび CTI ポートを選択し、下矢印をクリックして、選択したデバイスをユーザのコントロール リストに追加します。デバイスのリストが [Controlled Devices] エリアに表示されます。

- ステップ 5** [Save] をクリックします。
- ステップ 6** [User Management] > [User Group] を選択して、次のように設定します。
- ステップ 7** [Standard CTI Enabled] ユーザ グループ リンクをクリックして、[User Group configuration] ページを表示します。
- ステップ 8** [Find] をクリックして、ユーザのリストを取得します。
- ステップ 9** 作成されるユーザ ID に対応するチェックボックスをオンにします。たとえば、**CERUser** を選択します。
- ステップ 10** [Add Application Users to Group] をクリックします。
Cisco Unified Communications Manager は、選択したユーザを Standard CTI Enabled ユーザ グループに追加します。

前述の手順を繰り返して、Standard CTI Allow Calling Number Modification グループを CERUser に追加します。

CUCM データの CER への追加



(注) VOSS-USM は、CER をプロビジョニングできません。そのため、手動で CER を CUCM クラスタに関連付け、CUCM ユーザ、およびそのユーザがコントロールする CTI デバイスを定義します。

Cisco ER で、Unified CM クラスタを Cisco ER で定義するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [CERAdministration] ページにログインします。
`https://<Cisco_ER_IP_Address_or_name>/ceradmin`
- ステップ 2** [Phone Tracking] > [Cisco Unified Communications Manager] を選択します。
- ステップ 3** [Cisco Unified Communications Manager] ページで、次のように入力します。
- [Cisco Unified Communications Manager] : <CUCMName>、サーバの IP アドレスまたは DNS 名 (例 : **10.10.4.2**)
-  **(注)** このサーバは、CCM および SNMP サービスを実行している必要があります。CER 設定の同じ CCM クラスタ内で複数の CCM サーバを定義しないでください。
- [CTI Manager] : <CTIManagerIP>、サーバが属するクラスタの CTI マネージャの IP アドレスまたは DNS 名 (例 : **10.10.4.2**) (プライマリ POP の Unified CM Subscriber)
 - [CTI Manager User Name] : <CERCUCMUser> (例 : **CERUser**) (以前に作成)
 - [CTI Manager Password] : <CTIManPass> (例 : **cisco123**) (以前に作成)
 - [Backup CTI 1 Manager] : <BackupCTI1manager>。クラスタの最初のバックアップ CTI マネージャの IP アドレスおよび DNS 名 (例 : **10.10.4.3** (セカンダリ POP の Unified CM Subscriber))
 - [Backup CTI 2Manager] : <BackupCTI2Manager>。クラスタのセカンドバックアップ CTI マネージャの IP アドレスまたは DNS 名
 - [Telephony Port Begin Address] : <PortBeginAddress>。Cisco ER に作成されるポートのシーケンスの最初の CTI ポート アドレス (例 : **3001**)

- [Number of Telephony Ports:]<NumberofPorts>。Cisco ER で使用するために作成したシーケンスの CTI ポート数 (例 : 10)
- [Onsite Alert Prompt Repeat Count] : オンサイト セキュリティ電話でプロンプトが提供される回数 (例 : 2)

ステップ 4 [Insert] をクリックして、Unified CM を Cisco ER 設定に追加します。
Cisco ER は、Cisco Unified CM サーバをサーバのリストに追加します。

CER でのデフォルト ERL および ELIN の設定

デフォルト ERL からのコールは、HUCS プラットフォーム内にある IP 電話により管理されます。HUCS サービス プロバイダーは、汎用 HUCS プロビジョニング ガイドに従い VOSS-USM を使用して、カスタマーおよびロケーションを作成し、そのロケーションで専用電話機を作成します。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「デフォルト ERL のオンサイト アラート サポートのセットアップ」 (P.8-9)
- 「デフォルト ERL および ELIN の作成」 (P.8-10)
- 「CUCM でのデフォルト ルート パターンの変更」 (P.8-11)

デフォルト ERL のオンサイト アラート サポートのセットアップ

すべての ERL に対して、少なくとも 1 人のオンサイト セキュリティ担当者が識別され、ERL に割り当てられることを推奨します。ERL から緊急コールが発生すると、関連するオンサイト アラート担当者は、緊急コールが発生していることを示す通話呼を受信します。この手順で作成される担当者 ID は、次の項で詳しく説明されている、ERL に関連付けられます。

デフォルト ERL のオンサイト アラート番号が、サービス プロバイダー担当者番号であることを確認します。これは、デフォルト ERL が、マルチテナント型ではなく、CER を使用するためにプロビジョニングされたすべてのカスタマー/ロケーションに対応するためです。



(注) この手順は、新しいオンサイト担当者をデフォルト ERL に追加するたびに繰り返す必要があります。

ステップ 1 Cisco ER で、CER の [Administration] ページ (https://<Cisco_ER_IP_Address_or_name>/ceradmin) にログインします。

ステップ 2 [ERL] > [Onsite Alert Settings] を選択します。
[Onsite Alert Settings] ページが開きます。

ステップ 3 セキュリティまたはオンサイト アラート担当者の一意の ID、名前、電話番号を入力します。



(注) 電話番号は、FINT (CPID+RID+SLC+EXT) で入力する必要があります。

ステップ 4 使用可能な次の設定を使用します。

- [CPID] : USM の [PBX Device] メニューの [CCM Cluster Management] ページで使用できます。
- [RID Code] : USM の [Location] メニューの [Manage Location] ページで使用できます。
- [SLC] : USM の [Location] メニューの [Manage Location] ページで使用できます。

- [Extension (Ext)] : 電話機から直接使用できます。
- [Insert] をクリックします。



(注)

CER は、担当者をオンサイト担当者のリストに追加します。すべてのセキュリティまたはオンサイト担当者を定義するまで、繰り返します。

オンサイト アラート サポートのセットアップの詳細については、『CERAdministration Guide』で次の項を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cer/7_1_1/english/administration/guide/e911conf.html#wpxref64756

デフォルト ERL および ELIN の作成

この手順では、デフォルト ERL を作成し、CER グループのデフォルト ELIN を使用します。実際の導入では、この手順は、有効な ERL、ELIN および ALI データベースのデータが使用可能になった後だけで実行する必要があります。



(注)

PSAP コールバックは、デフォルト ERL ではサポートされていません。デフォルト ERL の PSAP からのコールバックは、サービス プロバイダー担当者に送信されます。これは、デフォルト ERL の ELIN が、サービス プロバイダー担当者の DN の DID であるためです。

デフォルト ERL は、他の ERL が電話機に設定されていない場合だけ、CER により内部的に使用されます。デフォルト ERL は、スイッチ ポート、未割り当て電話機、手動設定した電話機または IP サブネットには設定しないでください。CER は、CER サーバが最初に起動してから（またはスタンバイ CER サーバがない場合は再起動してから）、初期スイッチ ポート更新が完了するまで、すべての緊急コールにデフォルト ERL を使用します。

サービス プロバイダーに属する専用ロケーションの電話機/回線は、デフォルト ELIN に転送されるコールを受信するために、デフォルト ERL のオンサイト アラートとして使用することを推奨します。

手順：

- ステップ 1 [ERL] > [Conventional ERL] を選択します。[Find and List ERLs] ページが開きます。
- ステップ 2 [Configure Default ERL] をクリックします。[ERL Information for Default] ウィンドウが開きます。
- ステップ 3 [ERL Information for Default] ウィンドウの [ELIN Settings] セクションで次の項目を設定します。
 - [Route/Translation Pattern] : <RTPDefaultERL>、Cisco Unified CM で設定されたデフォルト ERL のルート パターン。
 - ルート パターンを識別するには、[Cisco Unified CM Administration] ページ (https://<Unified_CM_IP_Address_or_name>/ccmadmin) にログインします。
 - [Call Routing] > [Route/Hunt] > [Route Pattern] を選択します。
 - 検索パターンとして [ends with] を選択します。
 - 検索ボックスに **911** を追加して、[Find] をクリックします。このルート パターンは、CER で使用されます (例 : **2999999999.911**)。

- [ELIN] : <ELINDefaultERL> (例 : **4085550001**) (Elin は、サービス プロバイダー担当者のロケーションからの DID 番号でなければなりません)。
- [Onsite Alert Settings] : [Available Onsite Alert IDs] で使用可能な ID を強調表示します。

ステップ 4 [Add] をクリックします。

ステップ 5 ALI データを追加します。

詳細については、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cer/7_1_1/english/administration/guide/e911page.html#wp1009232

CUCM でのデフォルト ルート パターンの変更

Cisco Unified CM で、Cisco ER Cisco Unified CM ユーザを作成するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM Administration] ページ (https://<Unified_CM_IP_Address_or_name>/ccmadmin) にログインします。
- ステップ 2** [Call Routing] > [Route/Hunt] > [Route Pattern] を選択します。
- ステップ 3** 検索パターンとして [ends with] を選択します。
- ステップ 4** 検索ボックスに **911** を追加して、[Find] をクリックします。
- ステップ 5** [Route Pattern] をクリックします (例 : **2999999999.911**)。
- ステップ 6** [Calling Party Transformations] で、次のように変更します。
- [Calling Party Transformation mask] : このフィールドの値をデフォルト ELIN の FINT (CPID + RID + 8 + SLC + EXT) に変更します。
- ステップ 7** [Called Party Transformations] で、次のように変更します。
- [Called Party Transform Mask] : サービス プロバイダー担当者の内部番号 (8 + SLC + EXT) を入力して、このフィールドの値を変更します。
 - [Prefix Digits (Outgoing Calls)] : このフィールドに入力項目がある場合、それを削除してこのフィールドを変更します。
- ステップ 8** [Save] をクリックします。
-

Cisco ER パーティションの IncomingToCluster CSS への追加

VOSS-USM は、追加パーティションを既存の CSS に追加できません。作成された CER パーティション (たとえば、EUSA) は、IncomingToCluster CSS に手動で追加する必要があります。



注意

この手順は、CER が CUCM クラスターの最初の項目にプロビジョニングされた後で一回実行されます。

Unified CM で、作成された CER パーティション（たとえば、EUSA）を IncomingToCluster CSS に追加するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM Administration] ページにログインします。
https://<Unified_CM_IP_Address_or_name>/ccmadmin
- ステップ 2** [Call Routing] > [Class of Control] > [Calling Search Space] を選択します。
- ステップ 3** [Find] をクリックして、[IncomingToCluster CSS] を選択します。
- ステップ 4** [Available Partitions] リスト ボックスで作成された CER パーティション（たとえば、**EUSA**）を選択し、2 つのリスト ボックスの間にある**矢印ボタン**をクリックして、[Selected Partitions] リスト ボックスに追加します。
- ステップ 5** [Save] をクリックします。
- この CER グループに接続するすべての必要な Unified CM、およびすべての必要な CER グループで、この手順を繰り返します。

カスタマーごとの PSAP コールバック設定

各カスタマーに対して、管理者は、RPELIN913 CTI ルート ポイントに関連付けられる 913XXXXXXXXXX DN をプロビジョニングします。これは、Hosted UCS 7.1A ライト リリースの Unified CM で手動で実行する必要があります。

VOSS-USM でカスタマー ID を検索するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** [General Administration] > [Customers] に移動します。
- ステップ 2** 緊急用に Cisco ER を使用するカスタマーを選択します（例：**Customer1**）。
- ステップ 3** [Advanced Mgt] をクリックします。
- ステップ 4** [Customer Identified]（例：**Customer Identifier - 1**）は、次の画面で使用できます。

Cisco Unified CM で、RPELIN913 CTI ルート ポイントに関連付けられる 913XXXXXXXXXX DN を作成するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM Administration] ページにログインします。
https://<Unified_CM_IP_Address_or_name>/ccmadmin
- ステップ 2** [Device] > [CTI Route Point] を選択し、**RPELIN913** CTI ルート ポイントを検索します。
- ステップ 3** **RPELIN913** CTI ルート ポイントを選択します（緊急用に Cisco ER を使用できるようにすでにプロビジョニングされているカスタマーがいくつかある場合、複数の **RPEILN913** CTI ルート ポイントが表示されます。次の手順のために、このいずれかのカスタマーを選択します）。
- ステップ 4** 新しい DN を追加します。
- CER を使用する最初のカスタマーのプラットフォームを設定する場合、DN "913XXXXXXXXXX" がデフォルトで作成されるため、別途作成する必要はありません。
 - 2 人目以降のカスタマーについては、新しい DN を追加する必要があります（最初に使用できる回線を選択します）（例：**Line [2] - Add a new DN**）。
- ステップ 5** [Directory Number Information] セクションで、[Directory Number] に **913XXXXXXXXXX** を設定します。

- ステップ 6** [Directory Number Information] セクションで、ドロップダウン ボックスから、E#ISO#（ここで、#ISO# は、ISO 3166-1 alpha-3 3 桁の国コードです）のエントリを選択して、[Route Partition] を選択します（例：EUSA）。
- ステップ 7** 画面の上のいずれかをクリックして、設定を更新します。この手順は、回線の他のいくつかのフィールドの自動入力、および回線と **RPELIN913 CTI** ルート ポイントの関連付けに使用されます。
- ステップ 8** [Directory Number Settings] で、[Calling Search Space] で EmergencyCust<CustomerID> を設定します（例：EmergencyCust3）（カスタマー ID は、前の手順の VOSS-USM から取得されます）。
- ステップ 9** [Directory Number Information] セクションで、[Route Partition] を [EmergencyCust<CustomerID>] に変更します（例：EmergencyCust3）。
- ステップ 10** [Save] をクリックします。
- ステップ 11** [Device] > [CTI Route Point] を選択し、**RPELIN913 CTI** ルート ポイントを検索して、**RPELIN913 CTI** ルート ポイント（および関連付けられている **913XXXXXXXXXX** 内線番号）が登録されているか確認します。登録されていない場合、次の手順に進みます。
- ステップ 12** [User Management] > [Application User] を選択し、Cisco ER Cisco Unified CM ユーザを検索します（例：CERUser）。
- ステップ 13** Cisco ER Cisco Unified CM ユーザを選択します。
- ステップ 14** [Device Information] セクションで、設定された **RPELIN913 CTI** ルート ポイントを [Controlled Devices] エリアから選択して、**上矢印** をクリックして、このエリアから一時的に削除します。
- ステップ 15** [Save] をクリックします。
- ステップ 16** [Device Information] セクションで、設定された **RPELIN913 CTI** ルート ポイントを [Available Devices] エリアから選択して、**下矢印** をクリックして、選択したデバイスをユーザのコントロール リストに追加します。デバイスのリストが、[Controlled Devices] エリアに表示されます。
- ステップ 17** [Save] をクリックします。
- ステップ 18** [Device] > [CTI Route Point] を選択し、**RPELIN913 CTI** ルート ポイントを検索して、すべての **RPELIN913 CTI** ルート ポイント（および関連付けられている **913XXXXXXXXXX** 内線番号）が登録されているか確認します。

CER でのハードウェア グループの作成

BVSM は、ネットワーク グループを使用して、たとえば、ELIN が ERL に追加されるときにプロビジョニングする必要があるネットワーク コンポーネントを判別します。ハードウェア グループを追加するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Network] > [Hardware Groups] を選択します。
- ステップ 2** [Add] をクリックします。
- ステップ 3** [Hardware Group Details] で、次のように入力します。
- [Name] : <uniquename>（例：cergr1-pgw4-e4c4-hwgrp）
 - [Description] : <hwgrpdesc>（例：City 4 CER Group 1-PGW 4-Unified CM Cluster 4）
 - [Limit usage of this Hardware Group to] : 任意のアクション
- ステップ 4** [Available Emergency Responder Servers] で、必要な Cisco ER グループを選択します（例：CERGroup1）。

ステップ 5 [Available Transit Switches] で、必要な PGW を選択します (例: **PGW-ENT4**)。

ステップ 6 [Available PBX Systems] で、必要な Unified CM クラスタを選択します (例: **e4c4**)。

ロケーションの追加 (拡張緊急サポート)

ロケーションを追加するには、『VOSS deployment Guide』を参照してください。

CER サポートが必要なロケーションを追加する場合、[Enhancement Emergency Support] チェックボックスが選択されていることを確認します。

拡張緊急サポートが必要ないロケーションを作成する場合、2 つのサイト固有ルートパターン (911 および 9.911) を Unified CM に追加して、緊急コールを検出し、発呼側番号に緊急コールタイプ (CT 4) のタグを付けます。これにより、PGW が、緊急コールを検出して、異なる方法で処理できるようになります。

ロケーション作成時に拡張緊急サポートが選択された場合、前述の 2 つのルートパターンではなく、2 つのサイト固有トランスレーションパターン (911 および 9.911) を Unified CM に追加して、緊急コールを検出して、Cisco ER に転送します。

ロケーションの ERL および ELIN の追加

ここでは、ERL を作成して、この ERL に適用される ELIN を使用します。ここで説明する内容は、次のとおりです。

- 「[Conventional ERL のオンサイトアラートサポートのセットアップ](#)」 (P.8-14)
- 「[緊急応答ロケーションの VOSS-USM への追加](#)」 (P.8-15)
- 「[VOSS-USM での ELIN の ERL への追加](#)」 (P.8-15)

Conventional ERL のオンサイトアラートサポートのセットアップ

すべての ERL に対して、少なくとも 1 人のオンサイトセキュリティ担当者が識別されることを推奨します。これは、オンサイトセキュリティ担当者を ERL に割り当て、緊急コールが ERL から発生した場合に、その ERL に関連付けられたオンサイトアラート担当者が、緊急コールが発生していることを示す通話呼を受信できるようにするためです。この手順で作成される担当者 ID は、次の項で詳しく説明されている、ERL に関連付けられます。



(注)

この手順は、新しいオンサイト担当者を Conventional ERL に追加するたびに繰り返す必要があります。

手順:

ステップ 1 Cisco ER で、CER の [Administration] ページ (https://<Cisco_ER_IP_Address_or_name>/ceradmin) にログインします。

ステップ 2 [ERL] > [Onsite Alert Settings] を選択します。
[Onsite Alert Settings] ページが開きます。

ステップ 3 セキュリティまたはオンサイトアラート担当者の一意の ID、名前、電話番号を入力します。

ステップ 4 次の設定を使用します。

- [Telephone number] : FINT (CPID+RID+SLC+EXT) として入力します。
- [CPID] : USM の [PBX Device] メニューの [CCM Cluster Management] ページで使用できます。
- [RID Code] : USM の [Location] メニューの [Manage Location] ページで使用できます。
- [SLC] : USM の [Location] メニューの [Manage Location] ページで使用できます。
- [Extension (Ext)] : 電話機から直接使用できます。

ステップ 5 [Insert] をクリックします。



(注) CER は、担当者をオンサイト担当者のリストに追加します。すべてのセキュリティまたはオンサイト担当者を定義するまで、繰り返します。

オンサイトアラートサポートのセットアップの詳細については、『CERAdministration Guide』で次の項を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cer/7_1_1/english/administration/guide/e911conf.html#wpxref64756

緊急応答ロケーションの VOSS-USM への追加

要件によっては、いくつかの Emergency Response Location (ERL; 緊急応答ロケーション) をロケーションに関連付けることができます。作成される各 ERL に対して、いくつかの ELIN を定義できます。

VOSS-USM で ERL を追加するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 [Location Administration] > [Telephony] に移動します。

ステップ 2 [Emergency Response Location Management] をクリックします。

ステップ 3 [Add] をクリックします。

ステップ 4 [Details] で、次のように入力します。

- [Name] : <ERLName> (例 : E-ERL1)
- [Description] : <ERLDescription> (例 : ELOC1-ERL1 Emergency Response Location 1)
- [Emergency Responder Hardware Group] : <ERHwGroup> (例 : ccm-pgw-cer-hwgrp)

[Submit] をクリックします。

VOSS-USM での ELIN の ERL への追加

作成される各 ERL に対して、いくつかの ELIN を定義できます。

VOSS-USM で ELIN を追加するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 [Location Administration] > [Telephony] に移動します。

ステップ 2 [Emergency Response Location Management] をクリックします。

- ステップ 3 ERL を追加する ERL を選択します (例: **ELOC1-ERL1**)。
- ステップ 4 [Add ELIN] をクリックします。
- ステップ 5 ドロップダウンメニューから ELIN の DDI を選択します (例: **4085550008**)。
- ステップ 6 [Submit] をクリックします。

VOSS-USM は CER を設定できないため、ERL および ELIN を手動で設定する必要があります。

VOSS-USM で提供する情報は、VOSS-USM の情報に対応する必要があります。VOSS-USM からこの情報を取得するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 [Location Administration] > [Telephony] に移動します。
 - ステップ 2 [Emergency Response Location Management] をクリックします。
 - ステップ 3 設定する ERL を選択します (例: **ELOC1-ERL1**)。
 - ステップ 4 [Emergency Line Identification Numbers (ELINs)] で次の設定を使用します。
 - [Line Number] : <ELINNumber> (例: **408-5550008**)
 - [Route Number] : <RoutePattern> (例: **408-5550008.911**)
-

ERL および ELIN の設定

-
- ステップ 1 [ERL] > [Conventional ERL] を選択します。
[Find and List ERLs] ページが開きます。
 - ステップ 2 [Add New ERL] をクリックします。
[ERL Information] ウィンドウが開きます。
 - ステップ 3 [ERL Information] ウィンドウの [ELIN Settings] セクションで次の項目を設定します。
 - [Route/Translation Pattern] : <RTPERL>、Cisco Unified CM で設定された ERL のルートパターン。
 - ルートパターンを識別するには、[Cisco Unified CM Administration] ページ (https://<Unified_CM_IP_Address_or_name>/ccmadmin) にログインします (例: <https://10.52.211.144/ccmadmin>)。
 - [Call Routing] > [Route/Hunt] > [Route Pattern] を選択します。
 - 検索パターンとして [ends with] を選択します。
 - 検索ボックスに **911** を追加して、[Find] をクリックします。このルートパターンは、CER で使用されます (例: **24085550008.911**)。
 - [ELIN] : <ELINERL> (例: **4085550008**)。
 - [Onsite Alert Settings] : [Available Onsite Alert IDs] で使用可能な ID を強調表示し、[Add] をクリックします。
 - ステップ 4 ALI データを追加します。
詳細については、次の URL を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cer/7_1_1/english/administration/guide/e911page.html#wp1009232
-



(注)

この段階で、作成された Emergency Response Location (ERL; 緊急応答ロケーション) にスイッチポートを割り当てることができます。ただし、必要な情報を含むファイルをインポートすることで、一度に多くのポートを ERL に割り当てることもできます。スイッチポートの ERL への割り当ての詳細については、『CERAdministration Guide』の次の項を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cer/7_1_1/english/administration/guide/e911conf.html#wp1050998

